

PUBLIC RELATIONS MAGAZINE



もいわ 531



医療法人徳洲会 札幌外科記念病院



MOIWA 531

特集 外科紹介

- p3・外科・戸塚先生インタビュー
- p3・EUS 紹介 / みんながカメラマン
- p4・診療案内
- p4・医療講演ご紹介

Vol.2
2025年
冬号
広報誌

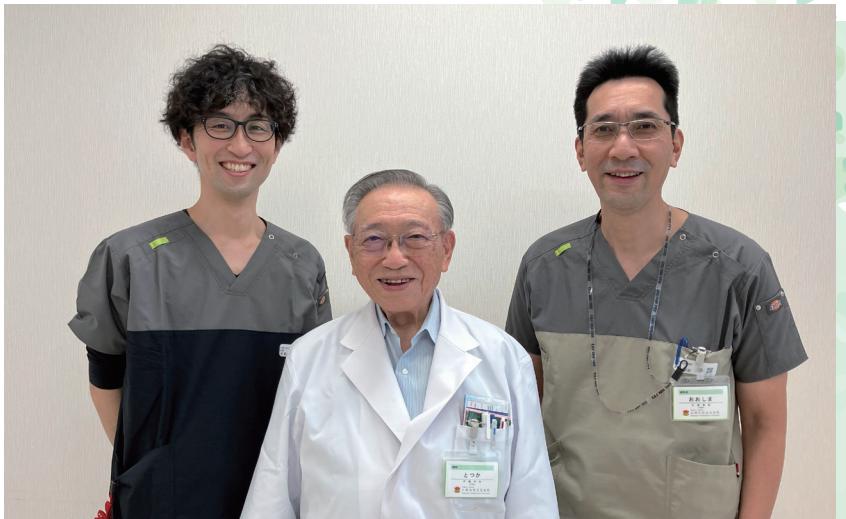
外科紹介

昨年の4月から、これまで長きにわたって当院を支えてくださいました外科の長内前院長にかわり、この度、新しく外科医として大島医師と前島医師が赴任し外科が再スタートいたしました。大島医師は札幌医科大学を卒業後、札幌医科大学第一外科に所属し、約30年にわたり北海道内の様々な病院で外科医として勤務してまいりました。前島医師は札幌東徳洲会病院で初期研修・後期研修を経て同院外科で15年間研鑽を積んでまいりました。

かつては数多くの手術を行い、地域医療を支えてきた当院ですが、近年は手術件数も減少し、2023年半ば以降は全身麻酔の手術はほとんどなされていなかつた状況です。昨年外科を再スタートさせてから、手術の再開に向けて、手術室の環境整備や人員の確保に努め、関係各所のご協力をいただきながら、7月から鼠径ヘルニアや大腸がんなどの手術を開始しました。

現在外科チーム三人は消化器外科医として、特に消化管を専門として診療を行っております。今後はさらに環境を充実させて、虫垂炎や痔核などの良性疾患から、胃がんや大腸がんなどの悪性疾患の手術を充実させていく予定です。さらに、救急車を呼ばなければならぬような急性腹症といわれる緊急の状態にも24時間365日対応することも目指しております。

これまで当院の消化器内科診療を支えてくださってきた田中先生とも協力し、将来的には消化器センターとして、検査から治療までを一貫して当院で施行できる環境を作り、地域に信頼されるような診療を提供できるよう尽力してまいります。近隣の皆様におかれましては、腹痛、下痢、嘔吐、吐血、下血など、消化器にかかる症状でお困りの際はいつでも診察いたしますので、お気軽にご来院ください。



外科 左から 副院長：前島拓 医師：戸塚守夫 副院長：大島秀紀

外科・戸塚先生インタビュー

今回は外科を特集するということで、当院に長くお勤めになられている戸塚先生にいろいろお話を伺いました。先生はインタビューの翌日(12月3日)がなんと94歳のお誕生日ということで、これまでのご経歴も含めて教えていただきました。

齋藤: こんにちは。お忙しい所ありがとうございます。まずはいつ医学部を卒業されたか教えて頂けますか？

戸塚先生: 僕は北大の農学部を出てから札医大に入り、1958年に卒業した。生まれてないでしょ？

齋藤: もうちょっと後ですね(笑)。札幌外科記念病院にお勤めになる前のお話を聞かせ下さいますか？

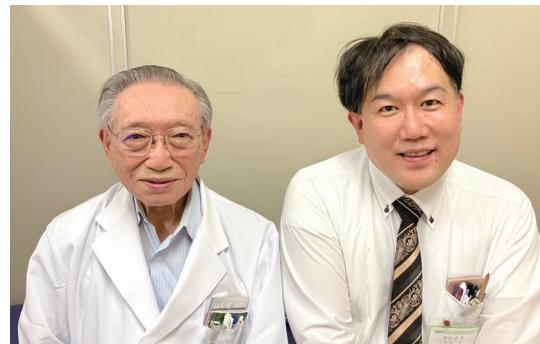
戸塚先生: 国家試験の前に当時はインターーンと言っていたけれど、一年間市立小樽病院にいたの。その後札幌医科大学付属病院の外科、現在の第一外科になるけれどもそこで働き始めました。その後そこと並行して利尻島の病院などいろいろなところに出張医として出かけたこともあります。札医大では助手から講師、最終的には助教授となった。平成元年に登別厚生年金病院の院長を拝命して12年、その後15年間名誉院長をさせてもらって、外科記念病院には顧問として2002年から現在まで週2回来るようになったの。

齋藤: そうだったんですね。札幌外科記念病院の歩みを戸塚先生の視点からご回顧しあ教え頂けますか？

戸塚先生: 1990年代に開院した当初は札医大の連携病院として消化器内科とともに広く外科や小児外科分野の治療が多かったんだけど、私がお世話になるようになつた2000年代からは、診断や治療技術の画期的進歩により、診療の内容がすっかり変わつたんです。その一方で、当初から続く札幌市南部地区の医療や介護施設のバックアップ病院としての役割はますます大きくなつてきて、今に至つているという感じですね。

齋藤: 貴重なお話ありがとうございました。先生、これからもますますお元気で地域の患者さまのご健康をお支え下さいね。あと、お誕生日おめでとうございます(笑)。

戸塚先生: どうもありがとうございます。



EUS紹介

令和6年10月より、経鼻内視鏡と超音波内視鏡が新しい機種に更新されました。より鮮明な画像で苦痛の少ない上部消化管検査が可能になりました。また、胆・脾疾患の精査も可能です。



みなさんこんにちは。病院の一階、受付カウンターとその奥では事務職員がお仕事をしています。事務長を始め、総務担当は主に院内的人事労務、物品管理などの業務を行っています。病院全体の会計を統括する経理担当もいます。医事課では患者さまと直接接する機会も多く、入院及び外来の受付や会計を担当しています。わたくしたちは医療の専門職ではないため、患者さまの診療や治療に直接携わることはできませんが、ご来院、ご滞在くださる皆さまが少しでも心地良く過ごしていただけるように努力しています。これからも何かお気づきのことがありましたら、どうぞお気軽にご意見をお寄せください。ちなみに10月から女性の制服が新しくなったことにお気づきになられていますか？ 病院の印象は受付担当によって左右されることもあるため、患者さまやご家族さまに寄り添った対応をしなくてはならないと事務職員一同心を引きしめて日々頑張っておりますのでよろしくお願ひいたします！



第2回

外来診療日 / 担当医表

受付時間 【午前】8:30~11:00 【午後】13:00~16:30

診療時間 【午前】9:00~11:30 【午後】13:30~17:00

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
外科	午前	大島	大島／前島	大島／前島	大島／前島	大島／前島	大島／前島
	午後	大島／戸塚	大島／前島	大島／前島	大島／前島	大島／前島／戸塚	
内科	午前	川崎	川崎	田中	矢花	田中	第1:矢花 第2・4:川崎 第3・5:田中
	午後	田中	矢花	矢花	川崎	田中	
循環器内科	午前	後平	後平	札幌東 担当医 午前10:00~	札幌東 担当医 午前10:00~	後平 ※第4休診	
	午後		非常勤 担当医				
整形外科	午前			金城			
	午後					佐藤	

※土曜午後、日曜、祝日休診

外科の火・木曜は手術が入った場合、待ち時間が長くなる可能性があります。
各診療科の休診・代診情報はウェブサイトをご確認ください。



医療公開講座のお知らせ

当院では毎週金曜日に医療講座を開催しています。

入場無料・予約不要ですので、お気軽にご参加ください。

場所 札幌外科記念病院リハビリ室

※ 終了後に医療相談を受け付けます。お気軽にご相談ください。

※ ご来場の際は、不織布マスクの着用をお願いいたします。

※ 講師の都合等で、講演開催中止の判断をする場合がございます。

お問い合わせ

医療法人徳洲会 札幌外科記念病院(総務課)

TEL:011-563-0151

医療法人徳洲会 札幌外科記念病院

〒064-0923 札幌市中央区南23条西15丁目

TEL:011-563-0151

市電 札幌市電（路面電車）「電車事業所前」下車、徒歩約5分

バス じょうてつバス真駒内線「南23条西15丁目」下車すぐ
じょうてつバス定山渓線「南21条西11丁目」下車、徒歩約15分

お車 札幌市電「電車事業所前」停留所南、福住桑園通沿い
駐車場は30台駐車可能



WEB SITE

